

■製作について

原画を作る際、龍は空想の生き物なので誰かが描いたものを参考にしなければならずなかなかオリジナリティを出すことが難しかったです。

龍を平面的なものではなく、立体的に迫力があるものにしたかったので、たくさんの龍の彫刻や、3Dで表現されたものを見て、原画を作りました。

龍はどうしても怖い容姿をしているので、お正月に参拝された方々が、華やかな雰囲気を感じれるように背景に桃の花を配置しました。

実際に描くときは、絵自体が大きいので、見る人がウロコを1枚1枚まで見えてしまうと思ったのでウロコを1枚1枚意識してできるだけ描くようにしました。

胴体のうねりを感じられるよう、胴体の前後感ができるように胴体の塗り方を変えました。年末までに完成するか本当に不安でした。完成して良かったです。

■奉納挨拶

今年も廣峯神社の絵馬を奉納させていただきましてありがとうございます。

このような貴重な機会を与えて頂いたこと、本当に光栄なことだと感謝しています。

来年の干支は辰ということで、華やかさと迫力がある絵になればと思い製作させて頂きました。

来年は「きのえたつ」の年、「甲辰(きのえたつ)」とは、どんな年なのか調べてみますと「春の日差しが、あまねく成長を助く年」になるのだそうです。

春の暖かい日差しが、大地すべてのものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年になるということです。

すべてのものに平等に降り注ぐということは、これまで陰になっていた部分にも日が当たり、報われ、大きな成長を遂げるといったことが期待できます。

逆に、自分にとって隠しておきたい部分にも日が当たり、大きな変化が起きる可能性もあります。

廣峯神社で、この絵馬を見て頂いた方々が、そのような良い変化に期待してワクワクして頂き、来年が幸せな良い1年になりますことをお祈りいたします。

本日は本当にありがとうございました。